

議会たより

第31号



一致団結
「やればできる!!」

第1回 勝本中学校体育祭
2011. 9. 11



◇主な内容

8月臨時議会

- ・議会一新 2P～
(議会構成を変更)

9月定例会

- ・こんなことを決めました 4P～
- ・一般質問(7人が登壇) 11P～

- ・市民の声 15P
- ・議会だよりクイズ 16P

議会一新

第2回臨時議会

平成23年8月12日、議会構成を変更するため臨時議会を開催した。

前回（平成21年）選挙後の議員により、議長・副議長を含め全議員が所属委員会等を2年毎に変更すると申し合わせていた。

これにより、任期4年間で複数の所管事項等の調査・研究を行うことにより、議員として幅広い識見と高い知識を養うことを目的としたものである。

今臨時議会では、新議長に市山 繁議員、副議長に中田恭一議員を選挙により決定した後、各常任委員会委員等の議会構成を一新した。

また新監査委員には、呼子 好議員を選出した。

議長就任のご挨拶



市山 繁 議長

このたび、第4代議長に就任いたしましたことは、身に余る光栄であり、同時にその責任の重さを深く感じているところでございます。

現在、市議会では議会改革検討特別委員会を設置して、通年議会・議会報告会・議員定数などの協議を行っており議会改革の実現を図って参ります。

また、特別養護老人ホームの建設、市民病院の在り方、医師の確保をはじめ多くの課題を抱えております。さらに、離島振興法の失効を目前にし、法の改正・延長への取り組みもあります。

中田恭一副議長ともども、議会の役割を改めて確認し、市政の推進と円滑な議会運営に全力をあげ、開かれた議会を目指していきたいと決意を新たにしております。

今後とも市民皆様の一層のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



総務文教常任委員会

◎ 委員長 ○副委員長
◇その他 所属委員会

※所管事項(主な審査内容)

総務課 条例、給与、消防・防災、選挙、監査、広報
財政課 財政、契約
管財課 市財産管理、土地対策
政策企画課 企画、政策、統計、情報
税務課 市民税、資産税、納税対策
会計課 出納
教育総務課 学校管理、給食センター
学校教育課 教育全般
社会教育課 生涯学習、文化施設等
国体準備室 国体準備・啓発推進
文化財課 文化財保護・発掘
消防本部 災害予防・警防、消火活動



◎ 今西菊乃
◇議会運営委員
◇議会改革検討特別委員



○ 久間 進
◇議会改革検討特別委員



副議長 中田恭一



榊原 伸
◇議会広報特別委員



小金丸益明
◇議会運営委員
◇議会改革検討特別委員長



呼子 好
◇監査委員
◇議会広報特別委員

厚生常任委員会

◎ 委員長 ○副委員長
◇その他 所属委員会

※所管事項(主な審査内容)

市民福祉課 住民票・戸籍、福祉、障害
こども家庭課 児童家庭、幼保連携
保育所
保護課 保護決定・給付・生活指導
健康保健課 国民健康保険、介護保険、国民年金、検診・健康増進
環境衛生課 廃棄物ごみ・し尿、リサイクル
温暖化防止、犬の登録等
市民病院
かたばる病院
老人ホーム
特別養護老人ホーム



◎ 町田正一
◇議会運営委員
◇議会広報特別委員
◇議会改革検討特別委員



○ 市山和幸
◇議会改革検討特別委員



鶴瀬和博
◇議会運営委員長
◇議会改革検討特別委員



豊坂敏文



音嶋正吾



久保田恒憲
◇議会広報特別副委員長
◇後期高齢者医療広域議員

産業建設常任委員会

◎ 委員長 ○副委員長
◇その他 所属委員会

※所管事項(主な審査内容)

農林課 農林・畜産、農村整備
水産課 水産、港湾、漁港
建設課 道路、河川、建築、住宅
上下水道課 上水道、下水道
観光商工課
農業委員会



◎ 田原輝男
◇議会運営委員



○ 大久保洪昭



牧永 護



瀬戸口和幸
◇議会広報特別委員



中村出征雄
◇議会運営副委員長



深見義輝



町田光浩
◇議会広報特別委員長
◇議会改革検討特別副委員長

※H22年度財政健全化判断 比率及び資金不足比率の 報告

市長が提出した健全化判断比率及び資金不足比率について、監査委員が関係職員の説明を聴取し、適正であるかの審査を受け報告されたもの。



Q 昨年度の本市の財政状況は良好であるという事であるが、合併算定替えの特例措置期間終了となる平成26年度以降、地方交付税減額の推移は。

A 平成26年度 1割 (約2億1千万円) 減、平成27年度 3割 (約6億3千万円) 減、平成28年度 5割 (約10億5千万円) 減、平成29年度 7割 (約14億7千万円) 減、平成30年度 9割 (18億9千万円) 減、平成31年度以降は約21億円余りの普通交付税が減額となる見込み。



地方交付税…地方公共団体の必要な財源を保障するために、国から出される資金。財源不足額から算定される普通交付税と、災害時などに交付される特別交付税がある。



こんなことを 決めました。

※附属機関設置条例の一部 改正

市長の附属機関として「吉崎市地域福祉計画策定委員会」、教育委員会の附属機関として「吉崎市小・中学校の学校給食における食物アレルギー対策委員会」を設置。



Q 吉崎市地域福祉計画策定委員会の委員の任務と構成人員、またその報酬の予算措置はしているか。

A 市民や関係団体等の意見を福祉サービスに反映させる。構成は15名以内とし、医師会・民生委員会・公民館連絡協議会・老人クラブ・社協等の代表者を予定している。報酬については当初予算にて委員会4回分として計上していたが、附属機関として条例改正の必要があるという事で、今議会では条例改正のみ。

※武生水A辺地(変更)、武生水C辺地(変更)、渡良B辺地(変更)、原島辺地、勝本辺地、東可須辺地、立石辺地、本宮辺地、諸吉辺地、仲・大石辺地、芦辺浦辺地、大左右・中山辺地、瀬戸浦辺地及び石田辺地に係る総合整備計画の策定について

辺地事業債を活用するため、辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政措置を計画したもの。



Q 各地区消防団の小型動力ポンプの更新をされるが耐用年数によるものか。この判断は誰がどこでするものか。

A 消防団の意見、専門業者による定期点検や修理状況を見て消防本部で決める。



Q 下水処理事業の場所と事業内容、住民との協議について。

A 芦辺町諸吉東触の市営吉ヶ久保団地一体と、大石地区の芦辺漁港埋立地域～大黒屋建材店～大石バス停～芦辺保育所一帯。漁業集落環境整備事業での下水道整備工事等。地元住民から77%の下水道推進の要望がある。



辺地事業債…辺地(山間部や離島のへき地)と都市の間で住民の生活文化水準の格差を無くすための、公共施設の整備等に対する地方債(資金借入)で、償還期間は10年以内。

※H23年度一般会計補正予算(第5号) 5億2千738万6千円 追加

◆公共施設フリースポット設置事業 152万3千円

市内公共施設にフリースポットを整備するための設置費用と通信料。



Q フリースポットの設置場所は。

A 市役所4庁舎、郷ノ浦・芦辺・石田フェリーターミナル、空港ターミナル、沓岐文化ホール、勝本地区公民館、芦辺離島開発センター、イルカパーク、猿岩物産館の市内13カ所。



フリースポット…携帯端末等から無線を利用してインターネットに無料で接続できる公共空間のこと。

どえーな 補正予算 のあると？



このステッカーのある場所ではインターネットが使えます。



フリースポット無線LANルーター

◆海岸漂着物地域対策推進事業 412万2千円



Q 全額が県の補助金であるが、事業内容は。

A 海岸への漂着物が非常に多く補助金の増額を申し入れたもので、船を利用した海岸からの撤去作業。

◆農地及び農業用施設災害復旧事業 1,194万3千円



豪雨による農地災害(石田町)

今年6月10日～12日の豪雨災害による、農地と農道・用水路等の農業用施設の災害復旧費。

◆コミュニティ助成事業 600万円



Q 今回コミュニティ事業の対象となった団体と内容は。

A 郷ノ浦元居青年会及び、郷ノ浦片原南部自治公民館のイベント用備品購入、勝本片山触公民館自治防災組織の防災備品購入。

◆体育設備施設管理費 290万円

市内体育施設(大谷公園・B&G海洋センター・芦辺ふれあい広場・青嶋公園・石田ふれあいの森)に自動体外式除細動器「AED」の設置と、大谷公園、B&G海洋センターの放送設備等の修繕。

◆小学校耐震工事設計 600万円

瀬戸小学校、那賀小学校校舎の耐震工事設計業務費。

◆中学校耐震工事設計 500万円

郷ノ浦中学校校舎の耐震工事設計業務費。



AEDが救急救命の一躍となります。

◆不動産鑑定委託料 162万9千円



Q どういった不動産を鑑定するのか。

A 郷ノ浦町の旧武生水保育所跡地、古城倉庫の建物敷地、建設業協会前の宅地及び雑種地、勝本町の旧ヨーガの里建物敷地と隣接のグラウンドを鑑定し、公募による売却を行う予定。



不動産鑑定される沓岐警察署裏の旧武生水保育所跡地



勝本地区公民館 2 階の壊れた空調機器

◆公民館管理費 820万円

勝本地区公民館空調機修繕、沓岐文化ホール非常用発電装置修繕、沓岐西部開発センター浄化槽修繕費。



勝本地区公民館の空調修繕は新規に取り替えるという事であるが、建物自体、築50年が経過しており老朽が進んでいる。災害時避難場所でもあり早急に建替えを望む。

※特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算(第1号) 11億1,239万7千円減額

◆消防施設等改修事業費 1,470万円

パッケージ型自動消火設備設置工事費

◆施設整備基金積立金 2,000万円

◆特養ホーム建設事業費 11億4千856万5千円を減額

東日本大震災を受けて事業計画を見直すため、今年度の建設を中止。



住吉第4水源施設

※簡易水道事業特別会計補正予算(第2号) 271万4千円追加

◆簡易水道施設改修事業費 227万円

芦辺町住吉第4水源水中ポンプ改修工事、水道量水器及び水道管路管理システム用パソコン購入。

- ※国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
- ※介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
- ※三島航路事業特別会計補正予算(第1号)
- ※農業機械銀行特別会計補正予算(第1号)
- ※病院事業会計補正予算(第1号)

収益的収支	1億6,266万8千円減額
収益的支出	4,125万9千円減額
資本的収入	147万円増額
資本的支出	294万円増額

1,394万3千円追加
404万5千円減額
7万5千円追加
852万4千円追加





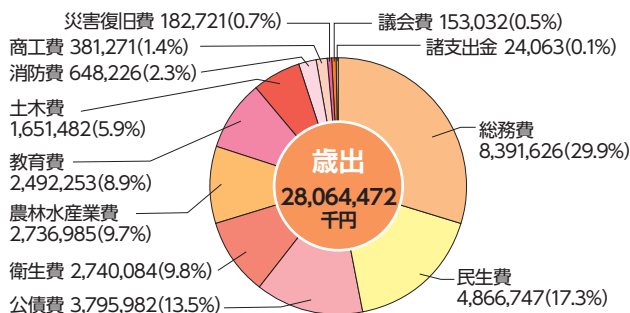
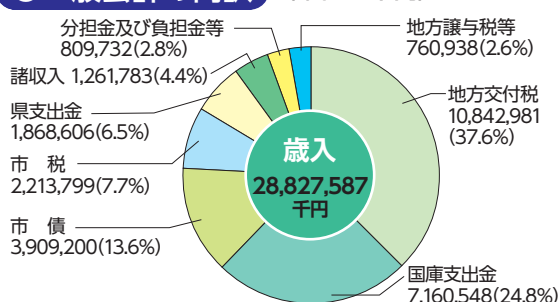
※平成22年度 各会計決算認定

H22年度 1 年間に壱岐市が使ったお金

H22年度に市に入ったお金の合計額は、**388億3千248万円**。

壱岐市が使ったお金は
一般会計と特別会計を合わせた額の**379億5千133万円**。

●一般会計の内訳 (単位：千円)



平成 22 年度決算額一覧表

(単位：円)

区 分	歳 入	歳 出	差 引	翌年度に繰り越すべき財源	実質収支
一般会計	28,827,587,160	28,064,472,431	763,114,729	379,561,659	383,553,070
国民健康保険事業特別会計	4,659,615,481	4,649,611,565	10,003,916		10,003,916
老人保健事業特別会計	482,645	7	482,638		482,638
後期高齢者医療事業特別会計	285,411,926	283,780,176	1,631,750		1,631,750
介護保険事業特別会計	2,887,712,694	2,886,233,238	1,479,456		1,479,456
簡易水道事業特別会計	938,921,145	935,454,406	3,466,739	58,000	3,408,739
下水道事業特別会計	450,539,606	450,477,086	62,520		62,520
特別養護老人ホーム事業特別会計	536,499,299	443,697,881	92,801,418	20,648,000	72,153,418
三島航路事業特別会計	119,595,551	119,595,551	0		0
農業機械銀行特別会計	126,115,722	118,007,811	8,107,911		8,107,911
特別会計 合計	10,004,894,069	9,886,857,721	118,036,348	20,706,000	97,330,348
一般会計+特別会計 合計	38,832,481,229	37,951,330,152	881,151,077	400,267,659	480,883,418

公営企業分

病院事業会計

(単位：円)

壱岐市民病院	収 入	支 出
収益的	2,324,506,015	2,524,403,738
資本的	120,783,000	189,219,710
かたばる病院	収 入	支 出
収益的	403,327,232	368,255,289
資本的	0	0
合計	収 入	支 出
収益的	2,727,833,247	2,892,659,027
資本的	120,783,000	189,219,710

水道事業会計

(単位：円)

	収 入	支 出	翌年度繰越額
収益的	163,438,045	130,895,152	0
資本的	3,335,422	50,594,725	45,855,950

決算特別委員会報告

委員長：町田 光浩
副委員長：深見 義輝
委員：全議員
(議長：オブザーバー)

平成22年度一般会計歳入歳出決算を認定した。

〈主な質疑〉

Q 不納欠損処分の内容について。

A 死亡・行方不明等で徴収不可能なもの。その他については時効中断措置等で引き続き対応している。

Q 税徴収の観点から、ナンバープレート未装着のトラクター等へ指導強化を。

Q 焼却場の委託費は規模に對比して大きく開きがある。A 施設ごとの委託契約である。今後は施設集約により一元化。

Q 電動自転車の実績と今後の方針は。A 観光協会の方で郷ノ浦港、石田フェリーターミナルに配置されているが、自転車を使った観光地巡りという利用実績は少ない。観光客等に目立つような啓蒙を図る。

A 未届けについては強力に呼びかけをしていく。関係業者への協力を要請していく。

委員会報告

総務文教常任委員会

委員長：今西 菊乃

副委員長：久間 進

委員：中田 恭一、榊原 伸好
小金丸益明、呼子 好

き地集會室（体育館）の改築の必要性を指摘。
③郵政改革法案の早期成立を求める陳情は慎重審議を要するため継続審査とした。

〈定例会付託議案〉
議案4件・認定1件・陳情1件の審査を行い、議案を可決・認定、陳情1件を継続審査とした。

〈委員会所見〉

①吉岐市小・中学校給食における食物アレルギー対策委員会設置について、協議内容が事後報告に終わらず効果的な協議の必要性を指摘。
②辺地に係る総合整備計画の策定について、消防小型動力ポンプの更新は分団により経過年数に大きな差がある。点検・整備の指導を指摘。また原島へ

予算特別委員会

委員長：市山 和幸

副委員長：町田 正一

委員：全議員
（議長・オブザーバー）

納者に対しては透明性のある収納方法を確認された。
歳出については、政策評価の結果を政策の優先順位に反映させ、有効的な予算措置をすべき。

〈委員会所見〉

平成23年度一般会計補正予算（第5号）について可決とした。
審査の結果、納骨堂屋根改修工事費については、他の納骨堂との公平性を鑑みて問題があると思われる、設置の経緯・維持管理方法等を調査・確認の上、議会の了承を得て執行することを条件とした。

〈定例会付託議案〉

厚生常任委員会

委員長：町田 正一

副委員長：市山 和幸

委員：鶴瀬 和博、豊坂 敏文
音嶋 正吾、久保田恒憲

〈定例会付託議案〉

議案4件、認定6件、陳情1件の付託を受けた。
認定6件中、平成22年度市民病院事業特別会計決算は不認定とし、他の議案については原案可決とした。

〈委員会所見〉

①市民病院事業決算認定について不認定とした理由は、建設から7年が経過し、建設費44億円の債務返還等の負担があるとは言え、累積欠損金は20億円を超える状況にあり、年次毎にも収支の改善が全く見られない。公営企業法の独立採算の原則から、早急に改善計画書が議会に提出されるべき。
平成26年度から交付税の減額が目前に迫っている中、赤

在宅介護を受けられるお年寄り「みなさんの助けが心の支えです。」



字決算を無条件に追認する事ではきないので不認定とした。
②介護保険法の居宅介護給付サービスの改善を求める陳情について、内容は施設入所者にはある紙オムツ等の介護サービス在宅の被介護者にも認めるべきとするもの。
吉岐市の介護保険料は月額3千800円、県下最低水準にあることから、運営面を考慮し資格対象者として、居宅介護者、要介護4・5の認定者、市内非課税世帯に限定し、その対象者16人に月額3万円程度の予算措置をするよう執行部に申し入れた。
県下では、吉岐・対馬のみがこのサービスを実施しておらず、居宅介護者の窮状を見越してきた事を深く反省している。



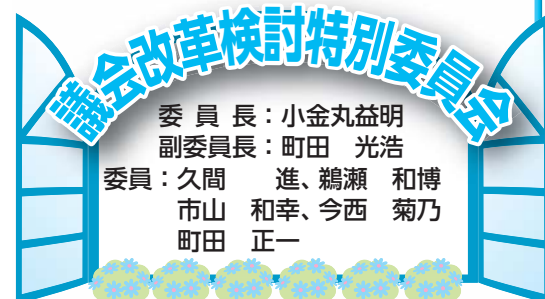
定例会付託議案

議案 3 件、認定 4 件の付託を受け全議案可決、認定とした。

〈委員会所見〉

平成 22 年度水道事業特別会計決算認定等、各種使用料等の未収金徴収について、今後とも悪質滞納者には規定に基づく給水停止や法的措置等、強い徴収姿勢で臨みたい。

また統一した滞納整理をするためにも、未納者徴収マニュアルを作成するとともに、定期的な訪問に加え、滞納要因の分析や経過記録を基に対策を講じるなど、一層の工夫と努力を尽くすよう要請した。



委員会調査報告

平成 23 年 3 月定例会で本委員会を設置し、議会基本条例の制定及び次期改選時における議員定数条例の改正と、併せて議会としての機能向上および効率的な議会運営に資するための方策を調査研究することとし、7 回の委員会を開催し協議を重ねた。

①議会基本条例の制定

地方分権の進展により地方公共団体の自己決定、自己責任の範囲が急速に拡大する中で、二元代表制の一翼である議会の担

う役割と責任はこれまで以上に重要なものとなってきた。このため議会は、市長その他の執行機関と対等な関係を構築し、市民の福祉の向上と将来のまちづくりに向け、意思決定機関及び行政の監視機関としての役割を十分に発揮しなければならぬ。

市民の代表として選ばれた議員は、市民の代弁者であるとともに、市民協働のまちづくりを実現するため、市民への情報発信と意見の収集を積極的に行い、政策立案能力の向上に努め、あわせて議会の意思決定に関する説明責任を果たす必要がある。

②定数条例の改正

吉岐市の財政状況は、合併後 10 年経過した平成 26 年度以降 5 年間で、交付税が段階的に縮減され、平成 31 年度からは 21 億円程度減額される状況。

また、今後の人口動態から判断しても、定数を削減すべきとする考えは、全議員による意向調査に

おいても概ね一致するところであり、大幅な削減を求める意見と、急激な削減を避けて段階的削減を望むとする意見に大別された。

議会にあっては合意形成が最も重要であることから、全議員に対し意向調査を実施し、議員定数は 18 名か 16 名とする二案に絞られた。

県下定数条例の下限値と議員の意向調査を基に討議を重ね、本委員会にて 18 名か 16 名とする選択採決を行った結果、賛成多数により 16 名と決定した。

議員定数に関する条例定数を 16 名とし、次の一般選挙から適用すべきであるとの結論に達した。

議員報酬については、議会としては、今後とも吉岐市特別職報酬等審議会の答申を尊重する。

12 月定例会に条例を提出する予定としているが、議会報告会実施要綱並びに通年議会実施要綱も定めることとする。

9月議会で決めたこと 議案と審議結果一覧表

番号	議 案 名	付託委員会	本会議採決結果		
1	平成22年度財団法人吉岐市開発公社事業会計収支決算の報告について				報告済
2	平成22年度吉岐市財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告について				報告済
3	吉岐市附属機関設置条例の一部改正について	総務文教	9.22	全員一致	可決
4	吉岐市税条例等の一部改正について	総務文教	9.22	全員一致	可決
5	市道路線の認定について	産業建設	9.22	全員一致	可決
6	武生水A辺地(変更)、武生水C辺地(変更)、渡良B辺地(変更)、原島辺地、勝本辺地、東可須辺地、立石辺地、本宮辺地、諸吉辺地、仲・大石辺地、芦辺浦辺地、大左右・中山辺地、瀬戸浦辺地及び石田辺地に係る総合整備計画の策定について	総務文教	9.22	全員一致	可決
7	平成23年度吉岐市一般会計補正予算(第5号)	予算特別	9.22	全員一致	可決
8	平成23年度吉岐市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	厚生	9.22	全員一致	可決
9	平成23年度吉岐市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	厚生	9.22	全員一致	可決
10	平成23年度吉岐市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)	産業建設	9.22	全員一致	可決
11	平成23年度吉岐市特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算(第1号)	厚生	9.22	全員一致	可決
12	平成23年度吉岐市三島航路事業特別会計補正予算(第1号)	総務文教	9.22	全員一致	可決
13	平成23年度吉岐市農業機械銀行特別会計補正予算(第1号)	産業建設	9.22	全員一致	可決
14	平成23年度吉岐市病院事業会計補正予算(第1号)	厚生	9.22	全員一致	可決
15	平成22年度吉岐市一般会計歳入歳出決算認定について	決算特別	9.22	全員一致	認定
16	平成22年度吉岐市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	厚生	9.22	全員一致	認定
17	平成22年度吉岐市老人保健特別会計歳入歳出決算認定について	厚生	9.22	全員一致	認定
18	平成22年度吉岐市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	厚生	9.22	全員一致	認定
19	平成22年度吉岐市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	厚生	9.22	全員一致	認定
20	平成22年度吉岐市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	産業建設	9.22	全員一致	認定
21	平成22年度吉岐市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	産業建設	9.22	全員一致	認定
22	平成22年度吉岐市特別養護老人ホーム事業特別会計歳入歳出決算認定について	厚生	9.22	全員一致	認定
23	平成22年度吉岐市三島航路事業特別会計歳入歳出決算認定について	総務文教	9.22	全員一致	認定
24	平成22年度吉岐市農業機械銀行特別会計歳入歳出決算認定について	産業建設	9.22	全員一致	認定
25	平成22年度吉岐市水道事業会計決算認定について	産業建設	9.22	全員一致	認定
26	平成22年度吉岐市病院事業会計決算認定について	厚生	9.22	反対多数	認定しない
27	介護保険法の居宅介護給付サービスについて改善を求める陳情	厚生	9.22	全員一致	可決
28	郵政改革法案の早期成立を求める陳情	総務文教			継続審査
29	「離島振興法」の改正・延長を求める意見書の提出について		9.22	全員一致	可決
30	離島の燃油流通コストを支援する事業の拡充を求める意見書の提出について		9.22	全員一致	可決
31	航路対策調査特別委員会の設置に関する決議について		9.22	全員一致	可決

議案番号 (10頁表参照)	久保田恒憲	呼子好	音嶋正吾	町田光浩	小金丸益明	深見義輝	町田正一	今西菊乃	市山和幸	田原輝男	豊坂敏文	中村出征雄	鶴瀬和博	榊原伸	久間進	大久保洪昭	瀬戸口和幸	牧永護	中田恭一	賛成	反対	結果
26	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○	×	×	○	○	×	○	○	6	13	認定しない

市山 繁議員は議長のため採決には入りません。



一般質問



モニタリングポスト

計画でも
その手
順・要領
等をマニ
ユアル化
しておく
べき。
放射性
物質の被
曝は時間
との勝負
なので、
緊急避難
が必要と
なる。

Q 防災計画の見直し

津波ハザードマップ
(災害予測図)を作成し
住民に周知し、併せて防
災避難訓練をすべき。知
識上の防災教育だけでは

不十分である。
玄海原発に約30kmと近
く、その間には遮蔽する
物はない。
彦岐市の特殊性を勘案
し、市内にモニタリング
ポスト(放射能数値を自
動観測する設備)を設置
するとともに、不測の事
態が発生した時に放射性
物質の飛散による住民の
島外避難が必要となった
場合、輸送手段等の避難
要領を県の防災計画で取
り上げてもらい、市の同
計画でも



瀬戸口和幸 議員

A ハザードマップ 作成準備中

市長

ハザードマップは作成
準備をしており、出来上
がり次第全市に配布し、
避難場所、避難経路等を
確認した後、訓練による
実体験をしていただき、
被害の軽減に繋げたい。
モニタリングポストに
ついては、彦岐市への設
置を強く要請する。

県防災計画は平成24年
度の早い時期に見直され、
市防災計画は県の計画に
沿って策定する事となる。
原発事故による住民の
島外避難要領については、
原子力対策協議会に要望
し、県の地域防災計画に
取り上げてもらい、市の
同計画で具体的にマニ
ユアル化したい。

お知らせ

県で、モニタリ
ングポストを彦岐
にも設置する事が
決まったよ。



豊坂 敏文 議員



Q 杵岐市史の増刊を

旧町の町史発刊後増刊の次期取り組みを。

A 作成の方向で望む

市長

発刊時期は明言できないが、作成に向けて記録を

取っていく。

Q 離島振興法の存続

① 免税軽油制度の廃止に伴う離振法での確立を。
② 国土保全策として、外国人土地取得に制限を法制化すべき。

A 国に強く望む

市長

① 軽油に限らず、離島における全油種の免税措置を創設するよう、国に強く要望していく。
② 国が検討作業を始めた。動向を注視しながら、機会あるごとに強く訴えていく。

Q 一次産業の担い手

対策

① 6月1日、認定漁業者制度要綱が施行されている。周知方法と現況の受付件数は。
② 繁殖牛8

千頭達成の具体策は。

③ 県家畜導入事業の見直しを図るべき。

A 各制度の活用を

市長

① 市報掲載及び各漁協から組合員に向け周知。12名程度の受付。
② 関係機関からの要望により、補助を行う。
③ 平成22年度は100頭の導入計画に対して59頭の実績。決して低い補助率ではないので、ぜひ活用されたい。

Q 加入率アップは公共施設が率先すべき

教育施設の下水道への加入状況と改善実態は。

A 充分に進んでいない

教育長

市内小・中学校全てが下水道には接続しておらず、浄化槽施設に取り込んでいない。未整備がプール・体育館等の14ヶ所あり、年次的に整備を進める。

鵜瀬 和博 議員



Q 見直せ、市航路対策協議会

離島にとって交通アクセスは死活問題である。航路対策協議会のあり方や委員構成を早急に見直すべき。

① 現協議会は、年2回の

九州郵船のダイヤ・運賃改定の報告会が主であまり機能しておらず、交通アクセスの課題等もっと協議すべき。九州郵船には協議会内で事前協議し、文書で要望しては。

② 福岡便等空路も協議すべき。
③ 法定協議会である杵岐対馬航路活性化協議会との位置づけは。
④ 各船・空路との共同キャンペーン支援実施を。

A 現状を打破したい

市長

① 航路対策協議会の現状を打破する必要性を感じ、年4回の定例協議会を提案している。
② 機材の充実が不可欠であるが、福岡便復活を強く要望している。
③ 平成25年までの時限立法

の杵岐対馬航路活性化協議会と杵岐市航路対策協議会との直接の関係はないが、航路に関しては一体として考えていきたい。

④ 合同キャンペーンは航路対策協議会、九州郵船、ORC、そして対馬市と協議・研究をしていく。

Q 市長附属機関の機能発揮を

① 様々な計画策定のため64の附属機関を設置しているが、策定後の進捗確認や評価等にも活用すべき。今後の委員選定は民間人、特に若者を多数起用すべき。

② 休止状態の地域審議会の今後の活用は。

A 達成すべく活動中

市長

① 委員の選任は民間人が多数である。
② 市民協働のまちづくりを念頭に、新たな行政区制度等への役割移行を考えている。



第1次産業の担い手



島民の航路アクセスを確立

呼び 好議員



A 答申を待つ

市長

①高齢者福祉計画及び介護保険事業計画作成委員会
②協議を行い、平成24年2月頃議会に報告、市特養は25年度着工・完成を目指したい。

Q 特養ホーム見直し

①平成24年3月完成を目指していたが、震災発生で計画変更された。完成はいつ。

②市特養に50人、民間に80人の入所待機者がいるが増床計画は。

③2ヶ所分散で特養ホーム建設地は鯨伏地区か。民間との協議は。



10月の子牛セリ市の様子

Q 雇用の創出

①一次産業の振興で雇用の確保を。
②栽培・養殖漁業の振興で雇用対策を。
③吉岐ブランドの加工技術の開発による雇用の確保を。

A 若者の雇用を推進

市長

①施設園芸、肉用牛経営等の担い手及び生産性の高い特定農業団体法人等の育成を推進することが、雇用の確保につながる。

久保田恒憲 議員



Q 東日本大震災復興支援活動

7月上旬に吉岐からもボランティアが支援活動を行ったが、その成果と今後の支援方針を問う。

A 復興支援は継続する

市長



市役所本庁玄関前のパーキングパーミット

被災者の方からお礼の手紙を頂き、ボランティアバス実現は良かったと実感している。報告会を実施して二陣・三陣を募りたい。

Q 大切な命と海を守れ

今夏、市内海水浴場で痛ましい事故が起きた。吉岐の海は観光資源として重要である。海水浴場の事故防止対策を早急に構築すべきであるが、来季へ向けた関係者との協議は。

A 早急に取り組む

市長

吉岐にとって夏場のマリンスポーツは、観光客誘致のため欠かせない。関連団体等含めて、事故防止に取り組んで行く。

Q 癒しの島を確立せよ

癒しの島を目指すのなら

福祉施設の充実を図るべきである。

①障害者等駐車場の普及のため、県が進めている
※パーキングパーミット制度を積極的に活用し健常者の理解と協力を得る努力を。

A 実施に向け努力する

市長

①パーキングパーミット制度の活用のため啓発活動を実施し、博物館駐車場にも制度を取り入れた。

教育長

②36ヶ所の社会教育施設と4ヶ所の文化財施設での洋式トイレは約22%。今後、改修実施へ向け努力したい。

※パーキングパーミット制度

公共施設等の身障者専用駐車場を利用する身障者・高齢者・妊婦、怪我人などに駐車利用証を発行し、車内に掲示して専用駐車場の正規の利用者であることを示すもの

町田 正一 議員



Q 病院改革について

①かたばる病院の廃院と市民病院との統合での財政上・運営上のメリット・デメリットは。
②マニフェストに言う経営形態の見直しを含む病院改革とは別物であると考えているが。

A 医師確保で悩む

市長

①デメリットは建設費の補助金5千300万円の返還。精神病床廃止で5千100万円減少。かたばる病院廃止で3千900万円減少。市民病院改修費に5千万円程度がかかる。

メリットとして単年度で人件費・委託費の5千500万円、精神病床削減後も4千900万円が交付税措置される。

②改革の第一歩だとは思わない。しかし市が2つの病院を持つことは困難。

Q 行財政改革について

①公務員法では給与表は地域の状況を考慮して条例で制定するようになっている。平成26年度から交付税が減少する中で、市独自の給与表を作成すべきでは。
②合併効果は市民の実感として無く、むしろ行

政との距離ができています。地域担当の専任職員を配することはできないか。

A 改革は進行中

市長

①私の任期中、総人件費を5億3千万円カットできる。経常収支比率も90%から80%へ改善。市独自の給与表は考えない。
②現状では配置できない。

Q 相次ぐ職員の不祥事

①郷ノ浦本庁舎の火災は民法上の責任はなくても組合執行部と賠償について話し合いをすべき。
②市教委の職員不祥事についてトップとして教育長の処分は。

A 統率は取れている

市長

①民法上、組合側に賠償責任は無いが、職員組合と話をしていく。

教育長

②私の処分は訓告。教育委員会職員の統率は取れている。

音嶋 正吾 議員



Q 市長マニフェスト

①市長のマニフェストについて、自己評価できること、反省すべきこと、今後の課題として取り組むことの3分類でたずねる。

②本市振興のため如何なる行政推進の戦略的取り組みをしたか。

③民間経営的な発想を取り入れた市政が必要と考えるが市長の見解を質す。地方分権化への変革の中、行政の理想的な姿についての見解。

④離島民の実態が反映される離島振興法の改正を望む。

⑤市民病院の透析施設の拡充と夜間透析の受入を求める陳情が1万1千728名の署名を添付し提出されたが、一向に実現しない。命と生活を守るため早期実現を。

A すべては吉岐のため

市長

①病院改革は、独立行政法人化を目指したが出来なかった。今後も医師確保に努力する。

ゴミ処分計画について、当初計画より約34億円圧縮できた。

平成31年度には交付税が21億円減となる。そのため行財政改革、起債の繰上償還等考えている。

②認定漁業者制度の創設等の取り組み。光ケープルで吉岐全域をネットワーク化できる。これが吉岐の将来の発展につながると考える。

③最小の経費で最大の効果が発揮できるよう努める。

④国境離島としての援助や航路のJ・R並運賃等を主張する。

⑤専門医の安定的かつ継続的確保の目途が立って初めて議論できるものと思う。



市民病院4階病棟

新たな離島振興法の制定実現を求める長崎県総決起大会
主催：長崎県・長崎県離島振興協議会



8月19日の離島振興法の制定を求める総決起大会

市民の声

議会だよりクイズの応募の中で、お寄せいただいたご意見や感想をご紹介しますコーナーです。

せっかく綺麗に舗装された道路に、アスファルトから雑草が勢いよく生えて見苦しいのです。どうにかありませんか？ 60歳

○道路管理は、路線や区域によって異なりますので、ご指摘の場所を建設課までご連絡をください。連絡先：市建設課 42-1111

行政と市民のパイプ役として、この議会だよりは最高のものと思って毎号読ませて頂いてます。テレビ時代ですから放送も悪いとは申しませんが、議会だよりはいつでも何回でも読み返しが出来ます。ファイルできるようにパンチもしてあり、とても行き届いた便りです。 75歳

立派な給食センターができました。センターの中の見学は一般の方にはできないのですか。 59歳

○給食センターの受付で申込をすれば、一般の方も研修室の中から見学する事ができます。連絡先：給食センター 43-8188

国民宿舎も早くリニューアルされ、オープンを待ち望んでいます。市民の癒しの場となりますように。 57歳



久しぶりに吉岐に帰省し初めて議会だより拝見しました。吉岐の議会でどんなことが話されているのかどんな問題が起きてるのかをタイムリーに知ることができました。 20歳

いつも楽しく読んでいます。やっぱり取り上げられる情報としては福島原発事故ですね。私は何よりも東北地方の復興を心から望みます。 30歳



土俵際を制す、真剣勝負!!

【議員発議】

離島における本土との格差を解消するべく、「離島振興法」の改正・延長を求める意見書と、離島の燃油流通コストを支援する事業の拡充を求める意見書を可決し、内閣総理大臣等、関係機関へ送付した。

「離島振興法」の改正・延長を求める意見書

昭和28年の離島振興法制定以後、全国の離島において離島振興事業が積極的に進められ、離島の生活条件が大いに改善し、産業基盤も着実に整備されてきたところである。

しかしながら、高齢化の進行、割高な流通・生活コスト、航路及び航空路の廃止・減便、医療従事者の不足等、離島をとりまく環境は依然として厳しい状態が続いている。

また、外海離島のように、国境を接している自治体は、領域や海洋資源、海岸漂着物等の大きな問題を抱え、周辺諸国との難しい国際関係に直面している。

よって、国は離島の国家的・国民的な役割を十分認識し、離島自治体が自主・自立性を発揮して離島振興を進めることができるよう、離島振興対策の見直しを図る必要がある。

特に、次の実現を強く要望する。

記

1. 総合的な離島振興策を強力に推進するため、「離島振興法」を改正・延長すること。

2. 国庫補助負担金の一括交付金化にあたっては、離島への補助金・交付金等は、一括交付金の対象から除外し、国の責任において必要な額を確保すること。

3. 平成23年度に実施された「離島ガソリン流通コスト支援事業」については、暫定的予算措置であるため、税制改正により、恒久的な措置を実現すること。

4. 離島航路運賃については、J.R並の運賃とするなど低廉化を図ること。

5. 離島医療の深刻な事情に鑑み、総合医の養成・確保を早急に行う対策を講じるとともに、ドクターヘリ等緊急輸送体制の整備を積極的に進めること。

6. 離島へき地教育を充実するため、学校統合に伴う遠距離通学に係る財政措置を充実すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成23年9月22日

長崎県吉岐市議会

第11回 議会だよりクイズ

初山保育所のお友だち



りくくん



そうちゃん



こうちゃん

第10回クイズの答え

①88人 ②三島診療所
 ③玄海原子力発電所
 応募総数21人の内、19人が全問正解でした。ご応募ありがとうございました。

～第10回クイズの当選者～

鳥越裕子様 古屋るみ様
 野元早子様 山本 明様
 吉永純子様 (順不同)
 おめでとうございます！

クイズに答えて

図書カード(1,000円)
 が当たります。皆さんの
 ご応募待ってま～す!!

クイズ 次の問題に答えよう

- その①** 市が、昨年(H22年度)に使った金額(歳出額)は？
- その②** 吉岐牛の生産を増やすための市が助成する金額は1頭あたりいくらかな。
- その③** 大谷公園など市内スポーツ施設に設置される救命装置の名前は？



ヒント この議会だよりの中に答えがありますので、最初から最後まで読んでみてください。

《応募方法》クイズの答え・住所・氏名・年齢をお書きのうえ、ハガキでご応募ください。
 議会だよりを読んだ感想や、議会へのご意見等もお書き添えください。
 ご意見等は、「市民の声」のコーナーで、できるだけご紹介させていただきます。
 正解者の中から、抽選で5名の方に図書カード1,000円分をお贈りします。

(当選者の発表は次号に掲載)

《あて先》〒811-5521

吉岐市勝本町西戸触 182-5
 吉岐市議会事務局 宛

《しめきり》平成23年11月30日(当日消印有効)

《個人情報の取り扱いについて》ご記入いただきました個人情報は、賞品発送・当選者発表および『市民の声』等の目的以外には利用いたしません。

編集後記

8月に議会構成が一新し、広報委員も半数が入れ替わって、今号の議会だより編集がメンバーでの初仕事となりました。

また、議会基本条例案も次回定例会で提案される運びとなり、議会改革に向け大きく動きたそうとしています。

そのような中であって、広報委員会も議会だよりの編集のみならず、様々な形で議会広報に努めていけるように取り組んでまいります。

今後とも宜しくお願い致します。

町田 光浩

12月定例会は
 12月2日(金)
 開会の予定です。

議会広報特別委員会

委員長 町田 光浩

副委員長 久保田恒憲

委員 瀬戸口和幸

委員 神原 伸

委員 町田 正一

委員 呼子 好



○編集 議会広報特別委員会

〒811-5521

長崎県吉岐市勝本町西戸触 182-5

TEL: 0920-42-1111

FAX: 0920-42-0096

【E-mail】iki-gikai@city.iki.lg.jp

【URL】http://www.city.iki.nagasaki.jp

○公職選挙法の規定について

お中元・お歳暮や、祝儀・見舞い等の金品を送ることや、暑中見舞い・年賀状などの挨拶状や有料の広告は禁止されております。

市民みなさまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

吉岐市議会議員一同

お知らせ

吉岐市ホームページ

(<http://www.city.iki.nagasaki.jp>) の市議会のインデックス(見出し)を検索すると、市長行政報告および議員の一般質問の音声を生で聞くことができます。また市議会会議録は、議会事務局・市役所本庁(総務課)・各庁舎(市民生活班)・各図書館で閲覧できます。ご利用ください。